

部局名	生涯学習部	所属名	青少年課	所属長名	関根 薫	電話	481-0306
-----	-------	-----	------	------	------	----	----------

1. 事務事業の位置付け・概要 (PLAN)

コード	3992	事務事業名称	青少年指導育成事業						短縮コード	経常	3992	臨時	3993		
予算区分	会計	01	一般会計		款	10	教育費		項	05	社会教育費		目	12	青少年対策費
区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> その他			根拠法令等		○地方青少年問題協議会法 ○社会教育法 ○子ども・若者育成支援推進法 ○八千代市青少年問題協議会条例 ○八千代市補助金等交付規則 ○社会教育関係団体事業補助金交付要綱 ○千葉県青少年健全育成条例 ○地区青少年健全育成連絡協議会補助金交付要綱 ○千葉県青少年相談員設置要綱 ○八千代市青少年相談員連絡協議会補助金交付要綱 ○八千代市青少年相談員設置要綱									

事業概要 (事務事業を開始したきっかけを含めて記入)

青少年健全育成のための環境づくりと指導者及び団体の育成を図るため事業を開始。
主な事業として、青少年問題協議会の開催、各種青少年育成団体の活動への支援、青少年団体指導者の養成講座の開催、青少年学校外活動事業の支援、成人式の開催、子ども憲章推進事業を実施している。

事務事業を取り巻く状況の変化 又、今後の変化の推測	5本の柱(章)	02	人間尊重都市をめざして		
	大項目(節)	03	青少年健全育成		
	中項目	01	青少年健全育成		
	小項目(施策)	01	青少年健全育成基盤の整備		
		02	青少年健全育成事業の推進		
	細項目	01	健全育成体制の充実		
		03	健全な環境づくりの推進		
	実施計画の計画事業				
計画事業の位置付けの有無	<input type="checkbox"/>	計画事業期間	~	計画事業費	千円

2. 事務事業の目的・指標・実績 (DO)

対象 (誰を何を対象にしているのか)	○青少年健全育成を目的としている機関・組織・団体等 ○おおむね30歳代までの青少年
手段 (具体的な事務事業のやり方、手順、詳細)	※平成21年度に実際に行なったこと: ○青少年問題協議会:会議開催 ○青少年対策担当者会議:青少年対策事業実施関係部署からの資料を基に「青少年対策の概要」を作成及び会議開催 ○地区青少年健全育成連絡協議会への支援及び代表者で組織する地域ぐるみボランティア運営会議の活動への支援 ○青少年指導員の活動支援 ○青少年相談員連絡協議会の活動支援 ○社会教育関係団体の育成・支援 ○青少年学校外活動支援事業の運営・同実行委員会の活動支援 ○成人式の企画・運営 ○青少年団体活動等に関する情報の収集・提供 ○青少年団体指導者養成講座の開催 ○子ども憲章推進事業:市広報紙、子ども情報誌等へ「子ども憲章」の掲載や「憲章バッヂ」の配付
	※平成22年度に計画していること: ○青少年問題協議会:委員の委嘱及び会議の開催 ○青少年対策担当者会議:青少年対策事業実施関係部署担当課からの前年度事業実績及び事業概要等の報告を基に「青少年対策の概要」を作成及び会議の開催 ○地区青少年健全育成連絡協議会の支援及び代表者で組織する地域ぐるみボランティア運営会議の活動への支援 ○青少年指導員の委嘱及び活動支援 ○青少年相談員連絡協議会の活動支援及び青少年相談員の委嘱 ○社会教育関係団体の育成・支援 ○青少年学校外活動支援事業の運営・同実行委員会の活動・設立支援 ○成人式の企画・運営 ○青少年団体活動等に関する情報の収集・提供 ○子ども憲章推進事業:市広報紙、子ども情報誌等へ「子ども憲章」の掲載や「憲章バッヂ」の配付
意図 (何を狙っているのか)	関係機関や青少年育成団体、地域住民の連携と参加のもと充実した青少年健全育成事業を実施し、青少年を正しく理解し、適切に指導していく体制の整備充実を図る。
ねらい(上位施策の意図)	入力対象外

区分	単位	20年度	21年度		22年度
		実績	計画	実績	計画
対象指標	指標1	青少年健全育成を目的としている団体	団体	29	29
	指標2				
	指標3				
活動指標	指標1	青少年問題協議会開催数	回	1	1
	指標2	青少年健全育成を目的としている団体補助金額	千円	2,575	2,575
	指標3				
成果指標	指標1	地域ぐるみボランティア運営会議事業実施数	回	2	2
	指標2	学校外活動支援事業参加者数	人	8,892	8,000
	指標3			6,813	8,000
上位成果指標	指標1				
	指標2				
	指標3				

コード	3992	事務事業名称	青少年指導育成事業			所属名	青少年課
事業費(A)	財源内訳	単位	20年度		21年度		22年度
			実績	計画	実績	計画	
国	千円						
県	千円		480	480	480	525	
地方債	千円						
一般財源	千円		3,654	4,095	3,776	4,423	
その他	千円				98		
主な事業費の内訳			・報酬98千円 ・報償費633千円 ・需用費465千円 ・役務費235千円 ・使用料及び賃借料124千円 ・負担金補助及び交付金2,575千円	・報酬119千円 ・報償費900千円 ・需用費569千円 ・役務費267千円 ・使用料及び賃借料136千円 ・負担金補助及び交付金2,575千円 公課費9千円	・報酬91千円 ・報償費651千円 ・需用費646千円 ・役務費259千円 ・使用料及び賃借料124千円 ・負担金補助及び交付金2575千円 ・公課費9千円	・報酬119千円 ・報償費898千円 ・需用費1153千円 ・役務費133円 ・使用料及び賃借料61千円 ・負担金補助及び交付金2575円 ・公課費9千円	
人件費(B)	千円		25,540.2	25,019.6	24,296.7	24,296.7	
トータルコスト(A)+(B)	千円		29,674.2	29,594.6	28,650.7	29,244.7	

3. 事務事業の評価(S E E)

評価類型	評価事項	評価区分	理由							
目的妥当性	①事業目的が上位の施策に結びついているか?	<input checked="" type="checkbox"/> 結び付いている	青少年が健やかに成長するよう関係団体や機関、地域住民の連携と参加のもと、青少年を正しく理解し、適切に指導していく基盤を整えることで、充実した青少年健全育成事業を推進することができる。							
		<input type="checkbox"/> 結び付くが見直しの余地がある								
		<input type="checkbox"/> 結びつきが弱い・ない								
		<input type="checkbox"/> 評価対象外事項								
	②すでに所期目的を達成しているか? ※「達成している」を選んだ場合、⑥に進んでください。	<input type="checkbox"/> 達成している	青少年関係機関等の活発な健全育成事業等の活動により、青少年自らが積極的に社会参画し、地域社会での青少年健全育成事業の推進・環境の整備が図られている。また、学校外における学習機会の充実や地域活動の推進体制の整備について、地域で子どもを育てる環境の整備や各種活動との連携を密にした事業の推進や展開が行われている。しかし、現代のように変化の激しい社会においては、青少年が社会生活のために身につけなければならない事は極めて多く、その内容も絶えず変化している。							
		<input checked="" type="checkbox"/> 達成していない								
		<input type="checkbox"/> 評価対象外事項								
	③民営化で目的を達成できるか? ※民営化・・・事務事業の全部又は一部の実施主体を全面的に民間事業者等に移行すること。 (民間委託は、権限に属する事務事業等を委託することで、民営化とは異なる。)	<input type="checkbox"/> 可能性はある	青少年の育成は、地域社会全体で実施していくものであり、民営化での目的達成は難しい。							
		<input checked="" type="checkbox"/> 可能性はない								
		<input type="checkbox"/> 評価対象外事項								
	④「対象」・「意図」の設定は現状のままで良いか?	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のままでよい	家庭や学校・地域・関係機関などと連携を図りながら、広く市民の理解と協力を得て、青少年健全育成基盤の整備、事業の推進を図る。							
		<input type="checkbox"/> 見直す必要がある								
		<input type="checkbox"/> 評価対象外事項								
有効性・効率性	⑤今後、有効性や効率性を向上させる可能性はあるか? 可能性がある場合は、⑤-2, 3を記入する。 可能性がない場合は、理由を記入する。	<input checked="" type="checkbox"/> 有効性向上の可能性がある								
		<input type="checkbox"/> 効率性向上の可能性がある								
		<input type="checkbox"/> 両方可能性がある								
		<input type="checkbox"/> 可能性がない								
	⑤-2 有効性や効率性を向上させる手段は何か? 該当する手段を選択し、具体的な方法と得られる効果を記入する。手段が「類似事業との統合・役割見直し」である場合は、該当する類似事業を記入する。	<input type="checkbox"/> 民間委託等	・主催事業として、青少年団体指導者養成講座を開催し、若年層の受講者が参加し易いよう、開催日の設定、受講回数、周知方法等を見直し、幅広い世代が事業への参加・運営に関われるよう、指導者養成講座の充実を図る。							
		<input type="checkbox"/> 臨時の任用職員等の活用								
		<input checked="" type="checkbox"/> IT化等の業務プロセスの見直し								
		<input type="checkbox"/> 受益者負担の見直し								
		<input type="checkbox"/> 類似事業との統合・役割見直し	類似事業 事務 事業 名称	1		実施主体 (所管部署)				
		<input type="checkbox"/> 上記以外の方法								
	⑤-3 推進にあたっての課題はあるか?(一時的な経費増・市民の理解等)	<input checked="" type="checkbox"/> ある	平日開催等の日程、受講対象者への周知方法、講習内容等も含めて検討し、実施した結果、受講者数の増加、若年層の参加があった。今後の課題として、受講回数を全開催日参加に言及せず、単発参加可能とした場合、指導者として必要とされる知識・技術の習得が不十分にならないよう、講座内容等さらに検討する必要がある。							
		<input type="checkbox"/> ない								

コード	3992	事務事業名称	青少年指導育成事業	所属名	青少年課		
今後の方向性	⑥この事務事業の今後の方針を選択し、その詳細について右欄に記入する。	<input checked="" type="checkbox"/> 改革・改善して継続	各関係団体の理解や協力を図り、若年層を含む幅広い世代が参加しやすい指導者養成講座の開催日程、講座内容等の検討をし、改善を図る。また、受講修了者に対して、地域活動への積極的な参加の促しや、必要としている地域へ修了者の情報を提供していく。				
		<input checked="" type="checkbox"/> 手法プロセスの改革・改善					
		<input type="checkbox"/> 事業規模の拡大・縮小					
		<input type="checkbox"/> 統合・役割見直し					
	<input type="checkbox"/> その他						
	<input type="checkbox"/> 廃止・休止						
	<input type="checkbox"/> 事業完了						
	<input type="checkbox"/> 現状のまま継続						
⑦この事務事業の今後の経費・成果の方向性について選択し、右欄に理由を記載する。		経 費			青少年育成団体の活動の低下を防止するため、団体への補助金、支援経費を維持し、事業の推進を図っていく。		
		成 果	削 減	不 变		増 加	
			<input type="checkbox"/> 向 上	<input type="checkbox"/>		<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
			<input type="checkbox"/> 不 变	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 低 下	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>			

この事務事業に対する市民や議会の意見（担当者が把握している意見） ※内部サービス業務の場合は、住民ではなく、サービス利用者、関連部門の意見や実態など
<ul style="list-style-type: none"> ・青少年問題協議会において「子ども110番の家」のプレートの掲示状況、増刷についての質問・意見があった。 ・成人式の開催日や参加の可否について、近隣市の状況把握等が必要であるとの意見があった。

所属長コメント	指導者の高齢化が進むなか、若年層を含む幅広い世代が参加しやすいよう指導者養成講座の内容を検討したり、また青少年が自立にむけて意欲をもち自主的に活動に参加し、自ら学び協調性を育みお互いを理解しあえるよう、青少年育成団体や地域の方々との協力で、健全育成を図り青少年の指導育成事業を推進する。			
評価調整委員会評価	<input checked="" type="checkbox"/> 改革改善して継続 <input checked="" type="checkbox"/> 手法プロセスの改革・改善 <input type="checkbox"/> 事業規模の拡大・縮小 <input type="checkbox"/> 統合・役割見直し <input type="checkbox"/> その他	講座の充実については、課題解決に努め、順次推進すべき。		
	<input type="checkbox"/> 廃止・休止			
	<input type="checkbox"/> 事業完了			
	<input type="checkbox"/> 現状のまま継続			